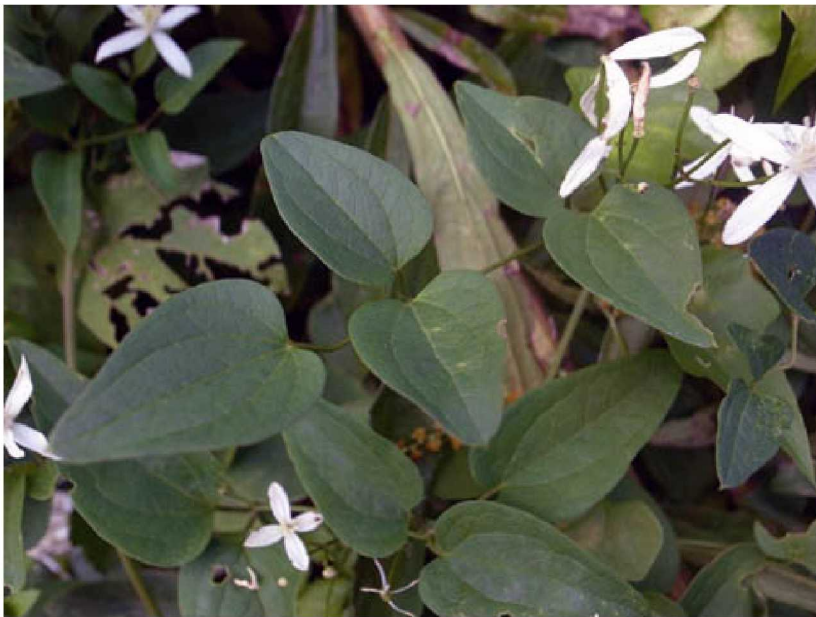


「今月の1枚」



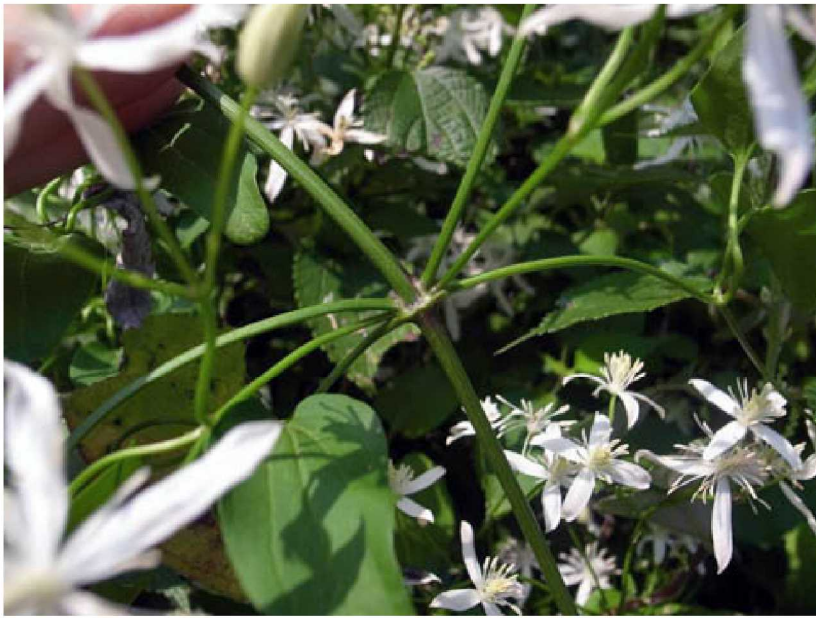
センニンソウの花

白い花弁に見えるものは萼片です。本来の花弁はありません。



センニンソウの葉

小葉が5枚ある奇数羽状複葉です。



センニンソウの茎
葉は対生につきます。



萼片が多い
多くの花では萼片（がくへん）は4枚ですが、なかには5枚や6枚ついているものもあります。

センニンソウ（仙人草、キンボウゲ科）、*Clematis terniflora*

ツル植物です。四国南部では8月下旬から、田んぼの周りや林縁などで白い花が盛んに咲いています。草むらや樹木に絡みつき、目の高さで花が咲いていることも多いのでとても目立ちます。

属名からわかるように園芸で使われるクレマチスの仲間です。真っ白な花はとてもきれいです。全草が有毒なので口に入れることはもちろん、草の汁が皮膚に付くことも避けた方がよいでしょう。

草刈りや藪こぎの際に汁が皮膚に付くと、かぶれたりひどい水疱ができることがあります。

(写真・文：大谷 達也 2015年9月4日 土佐清水市にて撮影)

(No.257 2015.9.7 掲載)